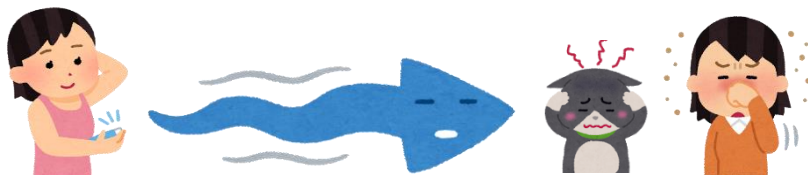


「化学物質過敏症」について ご理解とご協力をお願いします

宮一 保健室 R3.6.21

私たちの身の回りにはさまざまな香りが存在しています。近年は、“香り”に特化した製品も多く発売されていますが、その香料に含まれている化学物質で体調に異変を起こす「化学物質過敏症」で悩んでいる人たちがいます。

化学物質過敏症とは



化学物質過敏症とは、洗剤、柔軟剤、除草剤など家庭用品や化粧品などに含まれる、さまざまな種類のきわめて微量の化学物質に過敏に反応することにより、頭痛・めまい・疲労感・思考力の低下等、様々な症状が現れる病気です。

症状の出現や程度には個人差がありますが、重症になると日常生活に支障をきたします。発症のメカニズムにはまだ解明されていない部分がありますが、日常生活の中には様々な化学物質があるため、誰にでもこの病気になる可能性があります。

原因と症状

化学物質過敏症の症状は非常に多様で、原因物質が同じでも症状は人によって異なります。

【原因】 柔軟剤、香水、洗剤、芳香剤、タバコ、カビ、だに、ちり、塗料、接着剤、ディーゼル粉塵、排気ガス、農薬、殺虫剤、動物の毛、花粉 など

【症状】 吐き気、動悸、息切れ、頭痛、喉が痛い、喘息、目がかすむ、鼻が痒い、耳鳴りがする、下痢、便秘、湿疹、不眠 など



「化学物質過敏症」についてご理解とご協力のお願い

本校生徒の中にも、化学物質過敏症の診断を受けている人が数名います。吐き気や頭痛を訴えて保健室で休養したり体調不良で欠席する場合があります。また、診断を受けていなくても体調不良を生じる人もいます。

皆が安心安全に学校生活を送るためには、お互いの理解と配慮が必要です。これまでも各クラスで担任の先生から声かけをしてもらい、制汗剤や香水等の使用について配慮をお願いしていましたが、気温が高くなり汗をかく季節になると制汗剤等の使用が頻回になります。安心して快適な学習環境の維持にご協力ください。*ご家庭においても、できる範囲でのご協力をお願いします。

周りの人が
できる配慮

- ☆ 制汗剤を無香料のものにする
- ☆ 洗剤や柔軟剤は、香りマイクロカプセル入り(香りが長時間続く)は避ける
- ☆ 香水はつけない など

次頁に、仙台市の啓発用リーフレットを載せましたのでご覧ください。➡➡➡➡



ヘアスプレー



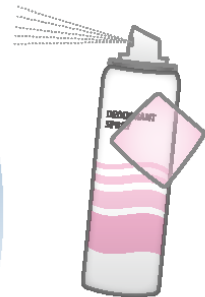
香水・フレグランス



シャンプー・リンス



除菌・消臭
スプレー



制汗剤



洗剤・柔軟剤



芳香剤・消臭剤



人工的な強い香りや化学物質により
このような症状が
現れてしまいます。



Chemical Sensitivity

化学物質過敏症 (CS) を 知っていますか?



わずかに化学物質に接しただけで
さまざまな体調不良をきたしてしまう病気です。

仙台市